



- 目的

- 創薬現場でIMSを活用するに当り, 現在直面している課題を抽出し, 議論を重ねることによって, 課題解決に向けた方向性を示す.

- 議論する項目

- 技術的課題点: 各課題点について, 知見や経験に基づいて解決の方向性を見出す.
- 創薬への活用方法: 分野 (安全性や薬物動態など) ごとの創薬への応用例を整理し, 具体的な活用について議論する.



- 活動経過
 - 本DGの活動骨子の決定.
 - 技術的課題点及び創薬への活用方法に関するテーマの洗い出しと優先順位付けを行い, 各テーマについて議論を実施中.
- 第8回JBFシンポジウムでの発表
 - 創薬活用へのIMSの普及を目指して, 技術的課題点および活用方法について, DGにおける議論内容を発表する予定.
 - フロアからのご質問やご意見も受け付けます.
皆様の積極的な議論への参加をお待ちしています!